

流行に備え適切な予防を！

豚(新型)インフルエンザ

メキシコで発生した豚(新型)インフルエンザは、その後、世界各国へと感染が拡大しています。

これに伴い、江戸川区をはじめ国内では、ウイルスの侵入防止と感染拡大を防止するための取り組みを強化します。正しい知識と情報を持ち、予防と適切な備えをすることが大切です。

☎ 保健予防課感染症第一係 ☎(5661)2475

豚インフルエンザとは

豚インフルエンザとは、A型インフルエンザによって起こる豚の呼吸器疾患です。豚インフルエンザウイルスは、通常、ヒトには感染しません。しかし現在、世界各国では、豚インフルエンザが変異して、ヒトからヒトへ感染する「新型インフルエンザ」が発生しています。

感染を防ぎ、広げないために今から対策をしましょう！

○うがい・手洗いを頻繁に行いましょう

新型インフルエンザにも、通常のインフルエンザや風邪と同様の予防が有効です。外出後のうがい・手洗いを必ず行いましょう。



石けんをよく泡立て、手首、指・爪の間までしっかり洗う



○せきエチケットを守りましょう

感染拡大を防ぐには、自分がうつらないことと同様に、他人にうつさないことも重要です。普段から「せきエチケット」を心がけましょう。



○外出を控え、外出時にはマスクの着用を

インフルエンザウイルスは、飛沫感染を起します。多くの人が集まる場所への外出は控えましょう。

感染防止には市販の不織布製マスク(商品のパッケージに記載されていることが多い)が有効です。着用するときは、顔とマスクの間にすき間を作らないよう正しく着用しましょう。



《せきエチケット》

- ①せきやくしゃみをするときはマスクを着用するか、ティッシュで口と鼻を覆い、周りの人から顔を背けましょう。
- ②使用したティッシュは蓋付きのごみ箱に捨て、手をよく洗いましょう。

感染が疑われる場合は江戸川保健所発熱相談センターに連絡を！

万が一、新型インフルエンザだった場合、直接、医療機関で受診すると、待合室などでほかの患者に感染させてしまうおそれがあります。まず、江戸川保健所発熱相談センターにご連絡ください。

▶感染者と接触、流行地域への渡航歴がある方

▶高熱、鼻水・鼻づまり、咽頭痛、せきなどの症状(通常のインフルエンザと同様の症状)がある方



感染の可能性ががあります

新型インフルエンザの感染が疑われる方の相談

○月～金曜 9時～17時

江戸川保健所発熱相談センター

(保健予防課感染症第一係)

電話 (5661)2475

FAX (3655)9925

○夜間、土・日曜、祝休日

東京都発熱相談センター

電話 (5320)4509

新型インフルエンザに関する一般的な相談

○月～金曜と5月2日(土)～6日(休) 9時～17時

中央健康サポートセンター

電話 (5661)2467

FAX (3655)9925

※月～金曜 9時～17時は、各健康サポートセンターでも受け付けます。



豚（新型）インフルエンザを 正しく理解しましょう！

4月29日現在、日本国内での豚（新型）インフルエンザの感染例は確認されていません。国は、出入国管理など、国内へのウイルスの侵入を防ぐ手立てをしています。今後、どのような形で拡大していくかはわかりません。

また、国内で発生した場合、交通機関や物資の調達など、日本中で社会機能の低下が予測され、感染拡大を防ぐため外出の自粛が要請されることも考えられます。

正しい情報を収集し冷静に対応しましょう。

豚（新型）インフルエンザQ & A

4月26日厚生労働省発表資料より

Q. 豚（新型）インフルエンザの症状は？

A. 発熱、倦怠感、食欲不振、せきなど、通常のインフルエンザと同様の症状が見られます。また、鼻水、咽頭痛、吐き気、おう吐、下痢などの症状を訴える患者もいます。

Q. 豚（新型）インフルエンザの感染はどのように広がりますか？

A. これまで確認されていたヒト感染事例のほとんどは、感染した豚への直接接触によるものですが、現在はヒトからヒトへの感染が発生しています。通常のインフルエンザ同様に、せきやくしゃみによる飛沫感染、もしくは直接接触することによる感染と考えられます。



Q. 豚肉を食べると感染しますか？

また、メキシコ産の食品は食べても大丈夫ですか？

A. 豚（新型）インフルエンザは、豚肉や豚肉の加工品を食べることによって経口感染するものではありません。また、インフルエンザは食品を介して感染しないため、メキシコ産の食品を食べても大丈夫です。



Q. メキシコ旅行から帰国したのですが、何に注意すればいいですか？

A. 発熱や呼吸器症状のいずれかが現れないかを確認してください。こうした症状が現れた場合は、すぐに医療機関を受診せず、江戸川保健所発熱相談センター☎(5661)2475に相談してください。現在、症状がない方でも、帰国後10日以内に疑わしい症状が現れた場合にはご相談ください。

生活必需品の備蓄を

備蓄リストの例～2週間分が目安～

感染防止用品

- 体温計 不織布製マスク（1人20枚程度）
- 消毒薬（アルコール・塩素系の漂白剤）
- ビニール製の手袋
- ゴーグル
- ビニール袋 ほか

医薬品など

- 解熱剤（アセトアミノフェンなど）
- 冷却剤（氷枕など）
- スポーツ飲料
- 常備薬 ほか

食料品

- 主食（米・餅・麺類・シリアルなど）
- 冷凍食品 缶詰
- 水（1人あたり1日最低2ℓ）ほか

その他日用品

- ティッシュペーパー 洗剤類
- 石けん 生理用品 乾電池 ほか



感染した家族を看病するときは



感染した家族を家庭で看病するときの注意

家庭内での感染を広げないことが大切です。看病する人は、「マスク」「手袋（ビニール製）」「エプロン（ビニール製）」を身に付け、看病の後は、うがい・手洗い・洗顔などを徹底しましょう。患者が使用した食器や衣類などの消毒、部屋の換気を必ず行いましょう。